

「情報通信セミナー2024 in 静岡」を開催

＜自動運転やAIなどのデジタル技術の活用、デジタルと観光に関する研究などを紹介＞

東海総合通信局(局長 北林 大昌)は、東海情報通信懇談会(会長 岩田 彰 (名古屋工業大学名誉教授))と、6月28日にホテルグランヒルズ静岡で情報通信月間参加行事「情報通信セミナー2024 in 静岡」を開催し、自治体及び地域の企業などから70名の参加がありました。

東海クラリオン株式会社 安部講師からは、既存の車に自動運転機能を付加する「後のせ自動運転システム YADOCAR-iドライブ」について紹介がありました。「YADOCAR-iドライブ」は、既存の車にローコストでの自動運転を導入できるシステムとして開発され、その特徴を生かして地域の問題を解決することを目指しており、実際に自治体等と取り組んでいる実証試験についても説明がありました。

ギリア株式会社 齋藤講師と西村講師からは、「AIで解決できる課題」としてデータ分析技術を活用した学習教材の紹介、カメラで撮影された写真の画像分析技術や文書ファイルの分析により、適正な資料を選び出すシステムの開発について説明がありました。さらにゲーム等の仮想空間でのやりとりをもとに、目的達成のための行動パターンを学習する機械学習の一分野である強化学習や、AIの今後に関する講演がありました。

静岡県立大学経営情報学部教授 大久保講師と同研究室の学生からは、主に静岡県のお茶やその文化を楽しむことをテーマとしたティーツーリズムについて解説がありました。冒頭、大久保講師からはご自身が観光学を学ぶきっかけとなった経験に関する話がありました。その後、6名の学生が登壇し、地域の魅力紹介とSNS等のデジタル技術を活用した静岡県への観光を呼びかける取り組みを紹介しました。研究室の学生が制作を手がけた観光プロモーション動画を視聴し、ユニークで活気ある講演となりました。

パネルディスカッションでは、パネリストに東海情報通信懇談会 安田幹事長 (名古屋大学教授)、静岡県立大学教授 大久保講師と研究室の皆様、モデレーターに株式会社クエスト 畠中氏を迎え、デジタル技術と観光の関係についての意見の発表がされました。観光に際して使用するアプリやツールの意見交換では、世代間のギャップがあることに驚きの声と笑いの渦が起こる場面がありました。まとめでは、安田幹事長から「自分の研究室の取組に近くシンパシーを感じる」とセミナーをきっかけにした大学間連携を期待するコメントがありました。

今後も、静岡地区の皆様には情報通信の最新動向をお届けできる行事を企画します。



東海クラリオン株式会社
安部講師



ギリア株式会社
齋藤講師と西村講師



静岡県立大学 大久保講師と
同研究室の皆様



安田幹事長と
株式会社クエスト 畠中氏



パネルディスカッションの様子

問合せ先: 情報通信連携推進課 052-971-9313